

方向性5

ひとが集い働く、

魅力と活力にあふれるまちへ

施策体系

5－1 都市の魅力高める

- 5-1-1 3都心などの魅力向上
- 5-1-2 都市の国際性の向上
- 5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

5－2 地域経済を活性化する

- 5-2-1 産業の振興
- 5-2-2 新事業の創出
- 5-2-3 商業・サービス産業の振興
- 5-2-4 物流・港湾機能の強化
- 5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

5－3 都市農林業を振興する

- 5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給
- 5-3-2 安定した農業経営体の育成
- 5-3-3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

5-1 都市の魅力を高める

5-1-1 3 都心などの魅力向上

施策の展開

千葉都心においては、J R 千葉駅や駅ビルの建替えが進んでおり、県都の玄関口にふさわしい魅力ある空間の創出や、地域経済の活性化、雇用の創出などが期待されています。千葉駅西口の市街地再開発などとともに、官民一体で事業展開を行い、交流人口の増加や千葉駅東口駅前の民間再開発を誘発するなど、一層の機能充実や魅力の向上を図ります。

また、千葉駅周辺の活性化に止まらず、中心市街地の回遊性の向上などを通じ、魅力ある千葉都心の形成を図ります。

幕張新都心については、幕張メッセをはじめ、業務研究ビル、教育・研究施設、QVC マリンフィールドやホテル・商業施設及び住宅など、「職・住・学・遊」の複合機能の集積が進んでおり、約15万人が日々活動するエリアに成長しています。

幕張新都心のさらなる魅力向上に向け、県と共同により都市機能の強化や新たな事業展開の可能性の検討を進めるとともに、拡大地区における民間事業者等による開発や、若葉住宅地区での住宅開発等を促進します。

蘇我副都心については、民間による事業等の誘導などにより、整備された土地の有効活用を図るとともに、フクダ電子アリーナやジェフユナイテッド市原・千葉などのスポーツをテーマとした効果的なまちづくりを進めます。



幕張新都心

計画事業

1 千葉都心の育成・整備

● J R 千葉駅建替えの促進（都市計画課）

J R 千葉駅周辺の魅力向上と利便性向上を図るため、J R とモノレールの連絡する通路などを整備するとともに、J R 千葉駅周辺の活性化を促進します。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
J R ・モノレール駅連絡通路	協議	実施設計、工事	工事
J R や地元関係者との意見交換会	—	2 回/年	2 回/年

●千葉西銀座（1・2街区）地区市街地再開発の促進（市街地整備課）【新規】

千葉都心の土地の高度利用や機能更新のため、民間ビルの再開発を促進します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
市街地再開発事業	準備組合設立に向けた協議	都市計画決定、市街地再開発組合設立	市街地再開発組合設立

●中心市街地の案内板整備（まちづくり推進課）

中心市街地の活性化を図るため、主要公共施設や観光施設などに関する分かりやすい案内板を設置します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
案内板設置	25基	9基	34基

●電線共同溝の整備（維持管理課）【再掲】

安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上を図るため、電線類の地中化を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
栄町1号線	詳細設計	0.5km	0.5km

■中心市街地活性化の推進（産業支援課）

中心市街地の活性化を図るため、商工会議所等が行うにぎわいを創出する事業（アート活動の推進など）に助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
アート活動・イベントの開催日数	31日/年	9日/年増	40日/年

●千葉中央港地区まちづくりの推進（まちづくり推進課、経済企画課）【再掲】

都心の機能強化や海を活かしたまちづくりを推進するため、旅客船さん橋等を整備するとともに、旅客船の運航実験を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
旅客船さん橋の整備	港湾施設基礎工事	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備
旅客船の運航実験	9日間(23年度事業量)	6日間	6日間
案内板の整備	—	5基	5基

●千葉駅西口地区第二種市街地再開発（西口再開発事務所）【再掲】

土地の高度利用及び都市機能の更新を図るため、A棟再開発ビルや駅前広場などを整備するとともに、B棟の整備手法や用地の利活用を検討します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
駅前広場	—	整備 6,280 m ²	供用
区画道路	1 路線供用	整備 320m	供用
歩道橋	—	整備	供用
A棟建築	杭基礎工事	工事	完成
都市計画道路千葉港黒砂台線の整備	車道整備	歩車道整備	供用

2 幕張新都心の整備

●幕張新都心魅力向上基礎調査（経済企画課）

幕張新都心の魅力向上を図るため、効果的で実現可能性の高い事業について、県と共同により検討します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
基礎調査	調査	モデル事業	完了

■幕張新都心若葉住宅地区の整備促進（政策調整課）

「職・住・学・遊」の複合機能が集積した、国際性豊かなまちづくりを推進するため、幕張新都心の若葉住宅地区の計画的な土地分譲等を促進します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
県による土地分譲促進	基盤整備等	土地分譲	土地分譲

■幕張ベイタウンの整備促進（政策調整課）

「職・住・学・遊」の複合機能が集積した、国際性豊かなまちづくりを推進するため、幕張ベイタウンの土地分譲を促進します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
供給戸数	8,592 戸	808 戸	9,400 戸

■幕張新都心拡大地区の整備促進（政策調整課）

「職・住・学・遊」の複合機能が集積した、国際性豊かなまちづくりを推進するため、幕張新都心の拡大地区の整備を促進します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
民間商業施設の整備促進	基盤整備	基盤整備、 民間商業施設建設・開業	民間商業施設開業

●QVCマリンフィールドの充実（公園管理課）

来場者の安全性や快適性向上のため、施設を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
施設改修	トイレ改修、人工芝張替	トイレ改修、コンコース階段手すり、中央監視装置、音響システム	トイレ改修、コンコース階段手すり、中央監視装置、音響システム

3 蘇我副都心の整備

■蘇我駅周辺地区の整備（まちづくり推進課）

蘇我駅周辺の利便性向上のため、歩行者環境の改善などを図ります。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
蘇我駅周辺地区の整備	自由通路既存橋脚耐震工事	都市計画道路の歩行者環境の改善	都市計画道路の歩行者環境の改善

●公園緑地の整備（公園建設課）【再掲】

本市のスポーツ振興の拠点であり、防災拠点としての機能を併せ持つ、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
蘇我スポーツ公園	供用 22.5ha	用地取得 約 3.3ha 第3駐車場・第1多目的グラウンドの整備 4.1ha	供用 26.6ha

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 中心市街地活性化の推進

中心市街地に賑わいを創出するため、中心市街地まちづくり協議会（商工会議所）などとともに、若手アーティスト等によるアート活動が自発的かつ継続的に行われる体制づくりを進めます。

☎産業支援課（043-245-5277）

コラム 2つの顔を持つまち・千葉市 ～ 住宅都市と産業都市（業務地）

本市は東京都心まで約40kmの距離に位置し、東関東自動車道や京葉道路などの道路体系や、JR総武線をはじめ、京葉線や京成電鉄などの鉄道網の発展により、都心へのアクセスが至便な立地にあることなどから、高度経済成長期に人口流入が進むなど、東京都心へのベッドタウンとして発展してきました。平成17年における、本市の就従比※は93.3%となっており、東京都心に近接する住宅都市としての性格を有していることが分かります。

一方で、東京圏の各都市とも、就従比が100%を下回っている（横浜市が約82%、さいたま市が84%、川崎市が79%）なか、本市は最も高い数値となっています。

これは、千葉都心の業務機能の集積に加え、幕張新都心の整備などによる産業機能の集積により、市内に就業の場が増加したことが影響しており、本市が就業の場として選ばれる産業都市としての顔を持つ結果となっています。

本市は今後とも、東京都心や成田国際空港への近接性をはじめ、温暖な気候、海や緑をはじめとした自然環境など、本市の地域資源を最大限活用し、観光やレジャーの場として、住まう場として、さらには就業や学びの場として、選ばれる都市としての魅力と活力の向上を図っていきます。

図 就従比の推移

図 事業所数の推移

昭和60年までは減少傾向が続きましたが、幕張新都心の整備などの影響により、平成7年には大きく就従比が上昇しています。

※市内の就業者（市内に居住する15歳以上従業者。従業地は問わない。）の数を100とした場合の、市内における従業者（市内で従業する15歳以上従業者。居住地は問わない。）の割合で、従業者による昼夜間人口比を表します。100を超えると流入超過で、業務地の性格があることを意味します。

5-1-2 都市の国際性の向上

施策の展開

本市は、人口や経済の集積規模において、世界有数の東京を中心とした大都市圏に位置し、成田国際空港に近い立地特性や、幕張メッセなど国際コンベンション機能を有する強みがあります。

こうした圏域としての魅力や特色を最大限活用し、新たな需要や雇用を生み出す産業を育成するなど、国内のみならず、海外からもビジネスや生活の場として選ばれ、グローバルに業務を展開する企業活動を可能とする環境整備を進めます。

また、本市がこれまで姉妹・友好都市との交流により築き上げてきた信頼関係をもとに、新たな市場に目を向け、海外への販路拡大など海外競争力を強化するとともに、税源の涵養や雇用の創出などを図るため、海外からの企業の市内進出を促進するなど、国際経済交流を推進します。

また、外国語ややさしい日本語での情報発信をはじめ、外国人市民が安心して暮らせる支援体制を整備するとともに、日本人市民が外国人市民を受け入れる意識を育成するなど、異なる文化的背景を持つ市民がお互いに助けあうことができる地域社会の構築を図ります。



中国・呉江市における本市の観光プレゼンテーション



～市民のみなさんの声

- 幕張メッセなど魅力ある資源を活かし、国際的な都市を目指してほしい。

計画事業

●国際会議開催への助成（経済企画課）【新規】

地域経済の活性化や国際的なイメージの向上を図るため、国際会議の開催に対し助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
助成	—	3件	3件

●国際経済交流の推進（経済企画課）【再掲】

姉妹・友好都市との経済交流を進めるため、企業訪問団の受入れや企業進出の支援などを行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
企業商談会	—	1回/年	1回/年
海外進出企業向けセミナー	—	2回/年	2回/年
インキュベート施設への入居支援	—	1社	1社

■外国人市民の生活支援の推進（国際交流課）【再掲】

外国人が安心して暮らせる社会環境をつくるため、災害時の情報発信強化や日本語指導内容の拡充等を推進します。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
生活支援	—	外国人市民の町内自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充	外国人市民の町内自治会加入促進、外国人市民向け日本語指導内容の拡充

■姉妹・友好都市との交流促進（国際交流課）【再掲】

姉妹・友好都市と経済や観光など有益な分野において連携関係を築くため、交流事業を行います。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
姉妹・友好都市交流	2 市（23 年度事業量）	ヒューストン市、ケソン市	ヒューストン市、ケソン市
青少年交流	3 市（23 年度事業量）	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市	ヒューストン市、ノースバンクーバー市、モントルー市

5-1-3

観光の振興と魅力の創出・発信

施策の展開

今後、首都圏全体で人口減少や少子高齢化の進展が予想されるなか、観光は、地域における消費の増加や雇用の創出につながるなど、幅広い経済効果が期待される分野となっています。

本市は成田国際空港に近く、東京都心や房総半島へのアクセス性もよいことから、観光への取組みを面的にとらえ、県内の他地域の様々な観光資源との連携などにより、交流人口の増加を図ることが可能です。幕張新都心をはじめ、海や農村部、動物公園、ジェフユナイテッド市原・千葉と千葉ロッテマリーンズの2つのプロスポーツチームなど、既存の観光資源を有効に活用し、都市の魅力向上につながる取組みを積極的に進めます。

千葉中央港地区の旅客船さん橋等の整備にあわせ、旅客船の誘致など、千葉港を起点とする新たな海上交通ネットワークの実現を目指した取組みを推進します。



海上交通運航実験（高速ジェット船）

計画事業

● サイクルツーリズムの推進（経済企画課）【新規】

新たな観光需要の創出や市民の健康増進を図るため、市内のサイクリングコースの紹介など、PR活動を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
市内コースマップ	—	作成	作成
PR活動	—	協力店の選定・PR	協力店の選定・PR

● 千葉中央港地区まちづくりの推進（まちづくり推進課、経済企画課）【再掲】

都心の機能強化や海を活かしたまちづくりを推進するため、旅客船さん橋等を整備するとともに、旅客船の運航実験を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
旅客船さん橋の整備	港湾施設基礎工事	旅客船さん橋整備	旅客船さん橋整備
旅客船の運航実験	9日間(23年度事業量)	6日間/年	6日間/年
案内板の整備	—	5基	5基

●若葉区の魅力伝承（若葉区役所地域振興課）  【新規】

区民一人ひとりが区の魅力を再認識し、若葉区に対する愛着と誇りを持つことができるように、区民と協働で地域の魅力発見や情報発信を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
情報発信	情報サイトの開設	サポーター任命、魅力会議、情報サイトの充実	魅力情報の収集・発信

●美浜区の魅力発見ウォーキング（美浜区役所地域振興課）  【再掲】

区の特性を活かしたまちづくりを推進するため、区民が地域の魅力を発見するウォーキングを実施し、周知・PRを行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
区民とウォーキング	—	2回/年	2回/年
マップ作成	—	マップ作成	マップ作成

●稲毛海浜公園の改修（美浜公園緑地事務所）【再掲】

稲毛海浜公園の利用促進を図るため、施設の改修等を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
ヨットハーバーの浚渫	—	測量・実施設計	実施設計
検見川の浜活性化施設整備	—	調査	調査

事業の見直し

●千葉競輪場（競輪事業）

収益事業が減少傾向にあることなどから、競輪事業のあり方の検討を進めます。

5-2 地域経済を活性化する

5-2-1 産業の振興

施策の展開

本市では、雇用力の大きい製造業及び成長が見込まれる先端技術産業等を主な対象とし、千葉土気緑の森工業団地、ちばリサーチパークを中心に企業誘致を進めており、製造業など一定の集積が進んでいます。今後、さらに税源の涵養や雇用の創出を図るため、従来の製造業等に加え、新たに卸売・小売業等の非製造業などに対し、企業立地を進めるとともに、市ビジネス支援センターや千葉大亥鼻イノベーションプラザを有効に活用し、新しいビジネスや次世代をリードする新事業、新産業の創出を積極的に進めます。

また、本市がこれまで姉妹・友好都市との交流により築き上げてきた信頼関係をもとに、海外への販路拡大など、市内企業の海外競争力を強化するとともに、雇用の創出や税源の涵養等の観点から有効と考えられる海外企業の市内進出を促進するなど、戦略的な経済交流を推進します。

さらに、中小企業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、中小企業の資金繰りを支援します。



～市民のみなさんの声

- 経済情勢が良くなり、今後、就業先が減っていくことが懸念されます。市には産業育成のサポートをしっかりと進めてもらいたい。

計画事業

● 企業立地の促進（経済企画課）

地域経済の活性化や市民の雇用創出を図るため、中規模の企業の本社立地や、企業の立地に伴う市民の雇用に対する助成を拡充するとともに、賃借による立地に対して、新たに法人市民税相当額の一部を助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
立地助成			
所有型	2社（23年度事業量）	5社	5社
所有型本社（大規模）	—	1社	1社
所有型本社（中規模）	—	3社	3社
賃借型	1社（23年度事業量）	8社	8社

●国際経済交流の推進（経済企画課）

姉妹・友好都市との経済交流を進めるため、企業訪問団の受入れや企業進出の支援などを行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
企業商談会	—	1回/年	1回/年
海外進出企業向けセミナー	—	2回/年	2回/年
インキュベート施設への 入居支援	—	1社	1社

5-2-2

新事業の創出

施策の展開

長引く景気の低迷に加え、経済のグローバル化や都市間競争の激化など、本市の経済を取り巻く環境は厳しい状況にあります。本市が、社会経済環境の変化に的確に対応し、ビジネスを行ううえで魅力的な都市として発展するためには、市内企業の成長を促進するとともに、新たな企業の立地や起業家精神にあふれる人材を育成するなど、イノベーションの創出や産業の新陳代謝を促す取組みを進める必要があります。

起業を促進するため、引き続き、創業者研修による知識習得や資金調達支援、インキュベーションマネージャーによる相談体制の確立などの支援を行うとともに、創業後においても起業家が本市に開業し、大きく成長できるよう販路拡大などのフォローアップ支援を行います。

また、将来の起業家の育成に向け、関係機関や企業経営者等と連携し、学生や事業経験の少ない人材を支援する体制の整備を進めるとともに、次世代を担う子どもたちが起業家精神を喚起・涵養するため、経済・金融の仕組みを学ぶことができる取組みを進めます。



子ども起業塾

計画事業

● 起業支援の強化（産業支援課） 

ビジネスアイデアを持つ個人などが起業しやすい環境を創出するため、オープンスペースのインキュベート施設を整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
インキュベート施設	—	整備	供用開始

● キッズ・アントレプレナーシップ（起業家精神）教育の推進（経済企画課） 

将来の地域経済を担う人材を育成するため、主に小学生を対象とするアントレプレナーシップ（起業家精神）教育を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
子ども起業塾	1 か所	2 か所拡充	3 か所

参加と連携**～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。****1 起業支援の強化**

未来の地域経済の担い手となる人材を育成するため、起業を志す方や創業後間もない事業者に対し、起業にあたり必要となる事務所スペースの提供や、インキュベート室への入居期間中にインキュベーションマネージャーによる経営ノウハウ等のアドバイスを行っています。

また、「起業家支援フェスタ」（主催：財団法人千葉市産業振興財団、市）を契機に、企業家や市民の有志が一体となった「1000リーフパートナーシップ」を組織し、起業を志す方への支援を行っています。

☎産業支援課（043-245-5284）

2 子ども起業塾

次世代を担うこどもの起業家精神を喚起し、涵養するため、大学・企業と連携し、地域の商店・ボランティアの協力のもと、経済・金融の仕組みやものづくりの楽しさに触れることのできる、子ども起業塾を毎年、開催しています。

☎経済企画課（043-245-5275）

5-2-3 商業・サービス産業の振興

施策の展開

本市は、J R 千葉駅周辺をはじめとする商業集積や、交通の結節点である立地の優位性を背景に県内で最大の商圈人口を有していますが、市内店舗数は減少傾向にあり商業環境は厳しさを増しています。インターネットを活用した通信販売やネットスーパーが年々市場規模を拡大するなか、多様な消費者ニーズに的確に対応し、市内商業の活性化を図るため、地域商業者の積極的な取り組みや商店街の環境整備などを支援します。

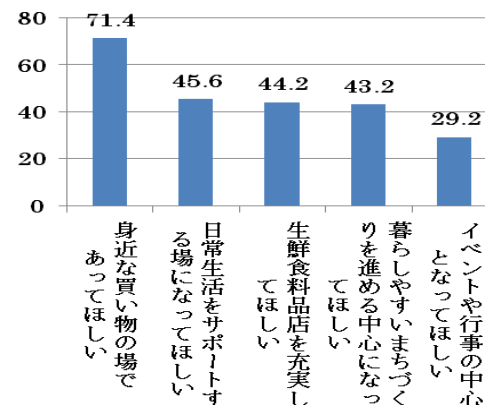
また、コミュニティ・ビジネスを促進するため、市民を対象としたセミナー・講座等開催情報の提供や、モデルとなる取組みを市のモデルプランとして表彰し、広く周知を図ります。

図表 26 生活環境に関する満足度（商業関係）

項 目	H21	H16
東京に行かなくてもショッピングや食事などを十分に楽しんでいる	56.3%	55.4%
食料品・衣料品など、市内で満足のいく日常的な買い物ができる	76.9%	73.6%

（出典：市民1万人アンケート）

図表 27 商店街にどうあってほしいか



（出典：インターネットモニターアンケート）

計画事業

商業活動活性化の推進（産業支援課）

地域経済の活性化や魅力ある商店街づくりのため、商店街が実施する活性化や地域課題の解決への取組みに助成します。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
助成	31 件/年	6 件/年増	37 件/年

商店街環境の整備（産業支援課）

地域経済の活性化や魅力ある商店街づくりのため、商店街の環境整備に助成するとともに、新しい活性化計画の策定を支援します。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
街路灯の更新	40 基 (23 年度事業量)	110 基	110 基

コミュニティビジネスの支援（経済企画課）



コミュニティビジネスを普及・促進するため、セミナーや講座の開催などを支援します。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
セミナー・講座の開催支援	—	実施	実施

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

**1 コミュニティビジネスの支援**

地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する「コミュニティビジネス」を促進するため、市民を対象に行われるコミュニティビジネスに関する講座の周知への支援を行います。

また、市内で3年以上継続して取り組み、ビジネスの手法を取り入れて地域課題の解決に成果をあげている事業をモデルプランとして認定し、表彰しています。

☎経済企画課（043-245-5275）

5-2-4 物流・港湾機能の強化

施策の展開

近年、長引く景気の低迷や、流通経路の多元化に伴う市場経由率の低下などにより、市場における取扱総量の減少が続いています。また、施設の供用開始から30年余りが経過し、建物や設備が老朽化していることから、生鮮食料品の供給を円滑にするため、施設の改修を進めます。

千葉港は、京葉臨海工業地帯の基盤的な港湾として、全国有数の貨物取扱量を誇り、鉄鋼業や石油業をはじめ、地元で立地する企業にとって必要不可欠な港湾となっています。また、首都圏経済の発展等を支える重要な役割を担っているため、本市としても、老朽化した岸壁など港湾施設の適切な維持・強化を促進します。



中央卸売市場「市民感謝デー」

計画事業

●市場施設の改修（中央卸売市場管理課）

市場施設の機能を保全するため、耐震性の低い建物の耐震補強を行うとともに、老朽化した施設の改修を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
エネルギー棟耐震補強	—	工事	完了
外壁・屋上防水改修	—	工事	完了
冷蔵庫棟冷蔵庫改修	—	基本設計、実施設計	実施設計

●魅力ある千葉港づくりの推進（まちづくり推進課）

港湾物流機能の充実を図るため、千葉港公共ふ頭の改良や蘇我寒川緑地の整備などを行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
中央ふ頭基礎工	延長 30m	工事 40m	延長 70m

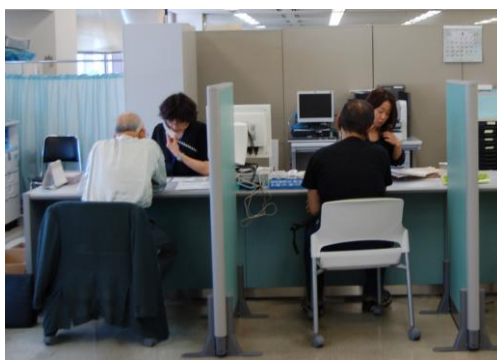
5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

施策の展開

就業支援の拠点である千葉市ふるさとハローワーク（稲毛区役所内）において、就労・生活支援や職業相談を行うとともに、労働相談やキャリアカウンセリングを引き続き進めます。

近年、新卒者など、若者の雇用情勢が厳しさを増していることから、就職活動前のカウンセリングや職業紹介、また、相談を通じて企業が望むスキル習得のための職業訓練へ誘導することにより、雇用のミスマッチの解消に努めるほか、就職後の雇用条件に対する相談など、継続的な支援を行います。

また、本市には大学等への外国人留学生が約1,300人いますが、卒業後に市内事業所等に就職せず帰国する留学生が多いため、就業機会の拡大を図ります。



ふるさとハローワーク（稲毛区役所内）

計画事業

●雇用対策の推進（産業支援課）【新規】

若年層や海外からの留学生が、将来、円滑に就職活動を行うことができるように、本格的な就職活動を行う前の学生に対して、企業説明会を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
若年者・留学生向け合同企業説明会	—	1回/年	1回/年

5-3 都市農林業を振興する

5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給

施策の展開

近年、農産物価格は、生鮮野菜を含む輸入農産物の増加により低迷しており、農業をめぐる環境は厳しい状況となっています。こうしたなか、農業の担い手を確保するためには、他の産業と遜色のない所得を農家が得られるような環境整備が必要です。

生産性の向上を図るため、農業経営の安定と生産意欲の維持・向上を図る取組みを進めるとともに、営農指導や技術開発の推進、農作業の省力化や効率化などの改善に取り組みます。

また、本市は温暖な気候や肥沃な台地に恵まれ、大都市として大きな人口を擁することから、都市部への供給機能の強化や、都市と農村の交流を通じ、市内産の安全・安心な農畜産物への理解と関心を高め、地産地消を推進します。



「千葉市地産地消シンボルマーク」の表示化
食の安全・安心に対する消費者の信頼を確保するため、新鮮で安全安心な市内産農畜産物の生産者を認証する「千葉市産農産物生産者認証制度」を推進しています。



稲毛区役所における「朝市」の風景

計画事業

●受精卵移植の活性化（農業生産振興課）

優良種雌牛の増殖等による酪農家の生産性の向上を図るため、乳牛育成牧場に高能力牛を導入します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
高能力牛（優良種雌牛）の導入	—	3頭	3頭

●農業生産団地の育成（農業生産振興課）

野菜などの生産団地を育成するため、営農組合が行う生産設備の整備などに助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
生産近代化機械施設整備	イチゴ高設栽培施設 1棟（23年度事業量）	イチゴ高設栽培施設 1棟	イチゴ高設栽培施設 1棟
	省力化機械 1台 （23年度事業量）	省力化機械 1台	省力化機械 1台
		パイプハウス 4棟	パイプハウス 4棟

■千産千消（地産地消）の推進（農業生産振興課）

市民に新鮮で安全・安心な農畜産物を供給し、農家の所得向上を図るため、千産千消（地産地消）に向けた取組みを進めるとともに、農家の 6 次産業化を促進する関係機関の連携体制を構築します。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
地産地消キャンペーン	8 か所	2 か所増	10 か所
生産認証者数	165 人	15 人増	180 人
6 次産業化認定	—	2 件	2 件

5-3-2 安定した農業経営体の育成

施策の展開

本市の農業を取り巻く環境は、耕作放棄地の増大や農業従事者の高齢化、担い手不足など厳しい状況にあり、安全で安心できる農畜産物の安定供給と安定した農業経営体の確保・育成が必要となっているため、新規就農希望者や定年帰農者等に対し研修を行い、就農を促進します。

また、農家の労働力の確保と市民が農業に親しめる機会の創出のため、農業版ハローワークや農業ボランティアの育成を進めます。

さらに、化学肥料の多用は、地力の低下や生育障害など品質や収量の低下を引き起こすため、化学肥料を削減し、堆肥の投入を基本とした土づくりを進めるとともに、減農薬の推進などにより環境に配慮した持続的な農業生産を進めます。

計画事業

1 優良農地の確保と有効利用

●緑農住区開発関連土地基盤整備の推進（農業環境整備課）

都市近郊農業の生産基盤と一体的に良好な住宅用地の創出を図るため、道路基盤などを整備します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
側溝整備	165m	201m	366m

2 意欲ある担い手の確保・育成

●農業の担い手の育成（農業経営支援課）

農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者などに対し研修を行います。また、農家で働いてみたい市民と労働力を必要とする農家のニーズをマッチングし農家の働き手を確保するため、農業版ハローワークの運営を行います。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
新規就農希望者研修	修了 12人	基礎研修 5人、農家研修 5人、実地研修 5人	修了 26人
定年帰農者向け研修	受講 46人	10人/年	受講 76人
農業版ハローワーク研修 (雇用成立件数)	329件	30件	359件

3 環境にやさしい農業の推進

●環境にやさしい農業の推進（農業生産振興課）

環境に配慮し、持続的な農業生産を進めるため、農家の減農薬への取り組みや土壌改良設備の導入に助成します。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
生産対策			
フェロモントラップ導入	—	134 戸	134 戸
イチゴの害虫に対する 天敵導入	—	25 戸	25 戸
地力増強機械施設の整備	1 台（23 年度事業量）	1 台	1 台

●乳牛育成牧場の整備（農業生産振興課）

家畜糞尿の適正な処理を行うため、乳牛育成牧場における糞尿処理施設の整備を進めます。

取組項目	23 年度末現況	計画内容	26 年度末目標
糞尿処理施設の整備	—	実施設計	実施設計

5-3-3

農村と森林の持つ多面的機能の活用

施策の展開

農業や農村は、市民に対し安定的に食料供給する役割のみならず、生産活動を通じ、「やすらぎ」や「うるおい」をもたらすなど、多面的な機能を有しています。農業に親しむ機会を提供するため、農家の適切な指導のもとで農業を体験できる市民農園などの整備を促進します。また、車いすの方でも利用できるよう身障者トイレの整備などを支援します。

本市の森林面積は、市域の約20%を占め、その大部分が民有林となっています。木材の輸入自由化以降、国内の木材価格が低迷し、林業従事者は極めて少ない状況となっており、森林の適正な管理が行われない状況が発生しています。このため、森林を「市民共有の資産」として位置付け、市民、団体・企業と連携して、健全な森林の保全に取り組みます。



森林ボランティア活動

計画事業

1 都市と農村の交流

●市民農園・観光農園の整備（農業生産振興課）

利用環境の向上や都市住民との交流を図るため、体験型市民農園の整備や観光農園への身障者用トイレ設置に助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
体験型市民農園設備の整備	—	1か所	1か所
観光農園への身体障害者用トイレ設置	3か所	3か所増	6か所

2 農村環境の整備と保全

●農業集落排水施設の改修（農業環境整備課）

農村の生活環境を保全するため、農業集落排水における老朽化した設備を改修します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
大規模修繕	—	1地区	1地区

■有害鳥獣対策の推進（農業経営支援課）

有害鳥獣による農作物被害を軽減するため、農家などが捕獲した個体の処分に助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
有害鳥獣の処分	20頭/年	20頭/年	20頭/年

3 健全な森林づくりの推進

■ 森林の整備と保全（農業経営支援課）

健全な森林を育成するため、森林所有者などが行う溝腐病などの被害木の跡地への新たな植林に助成します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
植林	16.0ha	7.5ha	23.5ha

4 森林の多面的機能の活用

● 里山の保全（農業経営支援課）

里山の有する多面的機能を維持増進し、市民の森林に対する理解と関心を深めるため、里山の保全制度を拡充するとともに、新たに里山地区を指定します。

取組項目	23年度末現況	計画内容	26年度末目標
里山地区の指定	3 か所	1 か所	4 か所
里山地区の維持管理団体への助成	—	2 団体	2 団体

参加と連携 ～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 里山の管理

本市は、「里山地区」の指定にあたり、森林所有者と使用貸借契約を締結するとともに、保全管理に関する協定を締結し、森林ボランティア団体に管理を委託しています。

現在、NPO法人ちば森づくりの会（第1水曜日、第2・3・4土曜日）、千葉市里山ボランティアの会（毎月1日、9日、17日、25日）がボランティア活動をしています。☎農業経営支援課（043-228-6275）